

野外文化大学報告（速報）

上杉名誉会長と行く

JAXA相模原見学ツアー

二〇一六年十月二一日、文化大学の野外版として、上杉邦憲名誉会長（JAXA名誉教授）が活躍されたJAXA相模原キャンパスの見学ツアーが、二三名の会員参加のもと行われました。



JAXA相模原は、二〇一〇年に奇跡の帰還を果たした小惑星探査機はやぶさで一層有名になったところだ。

一般展示エリア（はやぶさなどの衛星模型、ロケットの歴史パネル、ビデオ鑑賞など）に加えて、上杉名誉会長のお計らいで特別に、衛星の組み立て・検査エリアや、はやぶさの管制が行われた衛星管制ルームなども見学することができました（撮影禁止）。

案内役は、JAXAの並木さん。並木さんは、今は広報・普及担当ですが、かつては西村純会員（東



大・JAXA名誉教授）のもとで科学観測気球研究に携わり、はやぶさ回収にも関わった方です。会員のかたから活発な質問が出ましたが、深い専門知識をベースに非常にわかりやすい説明をしていたことができました。

現在六台の衛星を監視している衛星管制ルームでは、上杉名誉会長のはやぶさ追跡・回収のはなしで盛り上がりました。地球から電波を送って返答があるまで三十五分かかる中での苦勞、音信不通と



なつてから回復まで待った二か月間、回収の模様など興味深く聞きました。上杉名誉会長は地球帰還の際のカプセル切り離しの技術にも関与され、回収の際はさすがにハラハラされたそうです。

さらに屋外のロケット実物展示、隣接の相模原市立博物館・宇宙展示エリアを見学し、淵野辺駅前の居酒屋での懇親会で親睦を深め、散会しました。（記・加藤国雄）

